

地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりをめざして

# 稚内型CS通信 つながる No.2



発行:稚内市教育委員会

発行日:令和7年 10月 15日

## 稚内型CSを応援する

### 全市コーディネート体制始まる

#### 認定式・研修会を開催！

稚内市教育委員会は七月二日、総合文化センターで「地区別サポーター・分野別コーディネーター認定式・研修会」を実施しました。稚内市におけるコミュニティ・スクールの活動を推進するための「しくみ」として、各地区および全市的な応援体制を整備したものです。

市内各中学校区のCS・学校を応援するための「地区別サポーター」が六十六名と一人(宗谷漁協)、全市のCSを推進するための「分野別コーディネーター」が十三名、あわせて八十名(二人含む)が認定され、全市コーディネート体制がスタートしました。

#### 佐伯教育長が子育て運動と

#### 稚内型CSについて説明

研修会の冒頭、佐伯教育長が主催者を代表して挨拶し、子育て運動の活性化をめざして、中学校区ごとにCSを取り組んでいることを説明しました。「稚内は四〇年以上にわたり子育て運動を取り組んできて、その基盤が中学校区ごとに根づいている。それを活かしながら、あらたなCSの体制と活動が展開されるのが稚内型CSであり、これからの子育て運動の新しい姿です。」と

子育て運動とCSの関係をわかりやすく話されました。

さらに、「学校の応援団が増えることで、子どもたちと地域の方との触れ合いや学びの機会が充実することができるとして、これからの取組に期待が寄せられました。」

#### 稚内型CSの可能性と

#### コーディネート体制についての研修

研修では、「稚内型CSの可能性」と「コーディネート体制と役割」について学びました。稚内にはこれまでの子育ての財産が蓄積されていて、これからの活動を支える力に必ずなること。中学校区ごとの応援体制、全市的な応援体制を活用することで、子育て・CSを支えるネットワークづくり構築していくことを全体で確かめました。



認定式・研修会での教育長挨拶、グループごとの打ち合わせ



## 全市「分野別コーディネーター」を紹介します

○ 各専門分野の立場から稚内型CSを応援します。

### ■ 丸山 修 氏

・父親ネットワーク北海道代表

### ■ 出村 賢志 氏

・稚内市連合PTA会長

### ■ 川原 修子 氏

・稚内市校長会 会長 (中央小)

### ■ 中澤 和一 氏

・FM わっぴ〜パーソナリティー

### ■ 成田 功 氏

・漁業 (宗谷沿岸地区)

### ■ 田頭 弘隆 氏

・酪農 (天北地区)

### ■ 久手 剛 氏

・北海自工社長 (企業家)

### ■ 高橋 愛 氏

・レラクルーズ代表 (企業家)

### ■ 飯田 光 氏

・道北勤医協宗谷友の会 会長

### ■ 侘美 俊輔 氏

・育英館大学 教授

### ■ 吉川 智子 氏

・NPO 法人ノース工房運営委員会

### ■ 中野 智彦 氏

・稚内市町内会連協 事務局長

### ■ 橋掘 哲也 氏

・稚内市連合民児協 事務局長

六地区の「学校運営協議会」が開催、  
あらたな方針と体制が決定！

稚内市でCSが導入されて三年目。今年は、四月から六月までに、市内六地区の学校運営協議会が開催され、令和七年度の学校経営方針について確め合うとともに、学校と地域の連携・協働した活動計画について話し合いが行われました。また、今年、令和五年度からCSがスタートした地区では、学校運営協議会委員が新しくなったところもあり、新しい体制での活動が始まっています。



学校と保護者・地域の

力合わせの活動が生まれています

今年度、各地区では、子どもの実態や地域・住民の声を大切にして、コロナ禍等で休止していた活動について再開する動きが生まれています。

宗谷沿岸地区では、学校の枠を超えて子どもたちの生活実態を話しあう「子育て懇談会」をこの秋、開催しようとしています。天北地区でも、児童生徒と地域の高齢者の交流の場である「カフェ天北」を「まちづくり委員会」と関係者・CSが協働して実施しようとする準備を進めているところです。

子育てにとって必要な「熟議」が各地区で大切にされています。

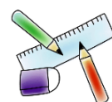


東地区学校運営協議会



宗谷地区学校運営協議会

稚内型CSの活動・実践紹介② 南地区  
— 子どもたちを地域とともに応援する取組 —



今年の南地区学校運営協議会は、二つのテーマで熟議を重ね、子どもたちのために学校と地域が連携・協力して取り組んでいます。一つは、学力の確実な定着のための活動。もう一つは、不登校や教室に入れない子どもたちの居場所づくりです。

学校と地域が連携して学力を育てる

「学力の確実な定着」をテーマに、南地区では、学校と地域社会が協働して、いろいろな機会をとらえて、子どもたちの学力の基礎を育てる活動を展開しています。地域住民をはじめ、高校生による授業ボランティア。読書の楽しさを伝える読み聞かせの活動。地域食堂の場（南拠点センター・さくらが丘町内会館）を活用した学習支援など、できることからチャレンジしています。

不登校や学級に入れない

子どもたちの居場所づくり

学校や教室に足が向かない子どもたちの学校内外で活動の場をつくらうと、昨

年から南地区のCSとして話し合いがすすめられてきました。校内では休み時間を利用した「折り紙教室」を地域の方の協力で取り組んでいます。さらに、校外の居場所づくりとしては、育英館大学と連携した取り組みも生まれています。CSで話し合ったことが、具体的な活動として展開している南地区。CS事務局や地域コーディネーターが地域・関係機関とつながりながら、子どもたちを応援する活動につなげていきます。

南地区の学校運営協議会の

熟議の様子

